

# 米づくり情報（NO. 6）

令和4年7月21日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

## 1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
7月	1	24.8	27.4	28.4	31.7	22.0	24.4	97.6	9.0	15.6	26.0
	2	25.5	27.8	29.2	32.0	22.6	24.6	84.3	3.0	19.2	36.1
	3	26.1	27.4	30.0	30.9	23.1	24.6	59.0	3.5	23.5	12.5
	4	26.7	26.6	30.9	29.9	23.5	22.9	42.4	134.5	28.3	16.9
	5	27.2	—	31.6	—	23.9	—	39.1	—	32.3	—
	6	27.6	—	32.1	—	24.2	—	44.3	—	41.4	—

【7月1半旬～7月4半旬の気象概況】

- 平均気温は、平年と比較して平年並み～2.6℃程度高く推移した。
- 降水量は、18日から19日にかけては線状降水帯が発生したことにより局地的な大雨となった。
- 日照時間は、平年の105%とやや多い。

## 2 生育状況（7月19日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 (cm)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈出葉数 (L)	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/1 移植 東山代町脇野	本年値	84.2	444	11.9	40.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は、平年よりやや高い</li> <li>莖数は、平年より多い</li> <li>主稈出葉数は平年よりやや多い</li> <li>葉色は平年より淡い</li> </ul>
	平年値	79.9	390	11.5	41.7	
	平年比	105	114	+0.4	-0.8	
ヒノヒカリ 6/20 移植 松浦町桃川	本年値	49.2	446	9.6	43.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は、平年より高い</li> <li>莖数は、平年より多い</li> <li>主稈出葉数は平年よりやや多い</li> <li>葉色は平年より濃い</li> </ul>
	平年値	41.4	393	9.2	43.0	
	平年比	119	113	+0.4	+0.9	
たんぼの夢 6/16 移植 松浦町桃川	本年値	55.6	521	9.2	44.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は、平年よりやや高い</li> <li>莖数は、平年より多い</li> <li>主稈出葉数は平年より少ない</li> <li>葉色は、平年よりやや淡い</li> </ul>
	平年値	52.3	467	10.6	44.6	
	平年比	106	112	-1.4	-0.5	

（耕種概要）

※夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。

### 3 今後の管理

#### 1) 山間早植え水稻（5月上中旬移植）

- ・穂孕期を迎えている。
- ・穂孕期から穂揃期にかけては、イネの用水要求度が高い時期であるため水がきれないように湛水状態を保つ。
- ・茎数が多く取れた圃場や葉色が濃い圃場は、「いもち病」などの病気が発生しやすくなるため注意深く観察し、病斑が確認された場合は速やかに防除を実施する。

#### 2) 普通期水稻「夢しずく」

##### 【6月上旬移植】

- ・すでに幼穂形成期を迎えている。
- ・幼穂形成始期（幼穂長 1 ミリ）を迎えた圃場では、下の表を参照し穂肥を施用する。穂肥は、湛水状態で施用し最低 4 日間は止水し、落水しない。

幼穂形成始期の草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量 (kg / 10a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
	3.0以下	34以下	22~20日前	1 mm	3.0	18 kg
<b>73cm以下</b>	<b>3.0~3.5</b>	<b>38以下</b>	<b>20~18日前</b>	<b>2 mm</b>	<b>3.0</b>	<b>18 kg</b>
	3.5~3.8	38~39	15~14日前	10~15mm	1.5~2.0	10~12kg
	3.8以上	40以上	晩限は止葉抽出終了まで		1.0以下	6 kg
73~79cm	3.0~3.5	38以下	20~18日前	2 mm	1.5~2.0	10~12kg
	3.5~3.8	38~39	15~14日前	10~15mm	1.0	6 kg
	3.8以上	40以上	施 用 し ない			
80cm以上	原 則 と し て 施 用 し ない					

※ 草丈は幼穂の伸長程度より幼穂形成期（幼穂長 1mm）を基点に、前後 1 日当たり 1cm 増減する。

※ 止葉が抽出し終わった後は施用しない。

※BB602の施用量は栽培ごよみに準じている。

##### 【穂肥診断の方法】

- ①幼穂形成始期頃の草丈を測る。
- ②葉色（群落・SPAD 値）を測る。
- ③上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
- ④施用量が確認出来たら、記載された施用時期に穂肥を施用できるよう準備する。

##### 【6月中旬移植】

- ・早いところではまもなく幼穂形成始期を迎え、穂肥施用時期となるため、上の表を参照し穂肥の施用を行う。
- ・遅くとも移植後 40 日頃までには中干しは終了し、間断灌水に移行する。

#### 3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- ・好天が続き、分けつの発生が旺盛となっており、まもなく中干しの時期を迎える。
- ・有効茎（1 株当たり 20 本程度）が確保できた圃場から順次中干しに移行する。また、分けつ

が少ない圃場は浅水管理とし、分けつ促進に努める。

- ・ガスわき対策として移植後15日、25日頃は夜干しなどを行い、根の活力を高める。ただし、用水確保が難しい地域では落水せずに湛水状態を保つようにする。
- ・移植後に湛水状態が保てず、除草剤処理後の水管理が徹底できなかった圃場では、ヒエ、コナギやホタルイ等の雑草の発生が散見される。速やかに、中後期除草剤等による防除を徹底する。  
※クリンチャーEWはノビエ6葉期、クリンチャーバスMEはノビエ5葉期までの登録と  
なっているので遅れないように防除を実施する。

#### 4) 共通

○病害虫防除

(いもち病)

- ・7月13日までのBLASTAM情報(気象条件のみによって葉いもちの発生を予測するシステム)によると、伊万里では7月5日に準感染好適条件が観測されている(好適条件が観測された1週間後に初発生や病斑数の急激な増加が予想される)。今後発生状況に注意し、進展型病斑が確認された圃場では、オリブライト粒剤等で速やかに防除を行う。
- ・圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」の温床になるためすみやかに除去する。



いもち病進展型病斑

BLASTAM 情報第5号 (2022年7月14日更新)

7月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
伊万里	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-

- 1: 準好適条件 (湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満)
- 2: 準好適条件 (湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上)
- 3: 準好適条件 (湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15~25℃の範囲外)
- 4: 準好適条件 (湿潤時間が湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
- : 好適条件 (湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した)
- : 好適条件の出現なし
- ?: 判定不能

(ウンカ類)

- ・トビイロウンカの飛来が確認されており(p4トラップ捕獲状況の通り)、この飛来波の今後の発生予測はp5のとおりである(発生予測図は7月20日更新)。
- ・今後の飛来状況および気象条件により、発生予測図は随時更新される。
- ・防除時期については、今後の飛来状況や圃場条件(移植時期や品種、圃場の場所等)によってウンカ類の発生量が異なるため、注意深く圃場を観察する(ウンカは稲の株元に定着します)。

		トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
幼虫	若齢			
	中齢~老齢			
成虫				

【情報田ウンカ類調査結果（25株あたり）】

（調査日：7/19）

品種	地域	移植日	トビイロウンカ		セジロウンカ		ヒメトビウンカ	
			成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
夢しずく	東山代	6/1	0	0	2	0	0	0
ヒノヒカリ	松浦	6/20	0	0	1	1	0	0
たんぼの夢	松浦	6/16	1	1	0	14	0	0

表1 イネウンカ類のトラップでの捕獲状況(2022年)

月	日	トビイロウンカ		セジロウンカ	
		佐賀県		佐賀県	
		佐賀市 ネットトラップ	嬉野市 ライトトラップ	佐賀市 ネットトラップ	嬉野市 ライトトラップ
6月	1日	0	0	0	0
	2日	0	0	0	0
	3日	0	0	0	0
	4日	0	0	0	1
	5日	0	0	0	0
	6日	0	0	0	0
	7日	0	0	0	0
	8日	0	0	0	0
	9日	0	0	0	0
	10日	0	0	0	0
	11日	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0
	14日	0	0	0	1
	15日	0	0	0	1
	16日	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0
	19日	0	0	0	1
	20日	0	0	0	4
	21日	0	0	2	0
	22日	0	2	5	1
	23日	1	0	4	0
	24日	1	7	3	2
	25日		41		18
	26日	0	1	2	2
	27日	0	65	1	8
	28日	0	0	1	1
	29日	0	0	0	0
	30日	0	0	0	0

月	日	トビイロウンカ		セジロウンカ	
		佐賀県		佐賀県	
		佐賀市 ネットトラップ	嬉野市 ライトトラップ	佐賀市 ネットトラップ	嬉野市 ライトトラップ
7月	1日	0	0	0	0
	2日	-	0	-	0
	3日	0	0	0	0
	4日	0	0	0	0
	5日	0	1	0	0
	6日	0	1	0	0
	7日	0	0	0	0
	8日	0	36	0	71
	9日	-	2	-	9
	10日	0	1	0	1
	11日	0	1	0	41
	12日	0	0	0	3
	13日	0	0	0	4
	14日	0	0	1	9
	15日	0	5	0	10
	16日	0	7	0	4
	17日	0	4	0	2
	18日	0	2	0	1
	19日		113		74
	20日				
	21日				
	22日				
	23日				
	24日				
	25日				
	26日				
	27日				
	28日				
	29日				
	30日				
	31日				

注)佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査。嬉野市ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

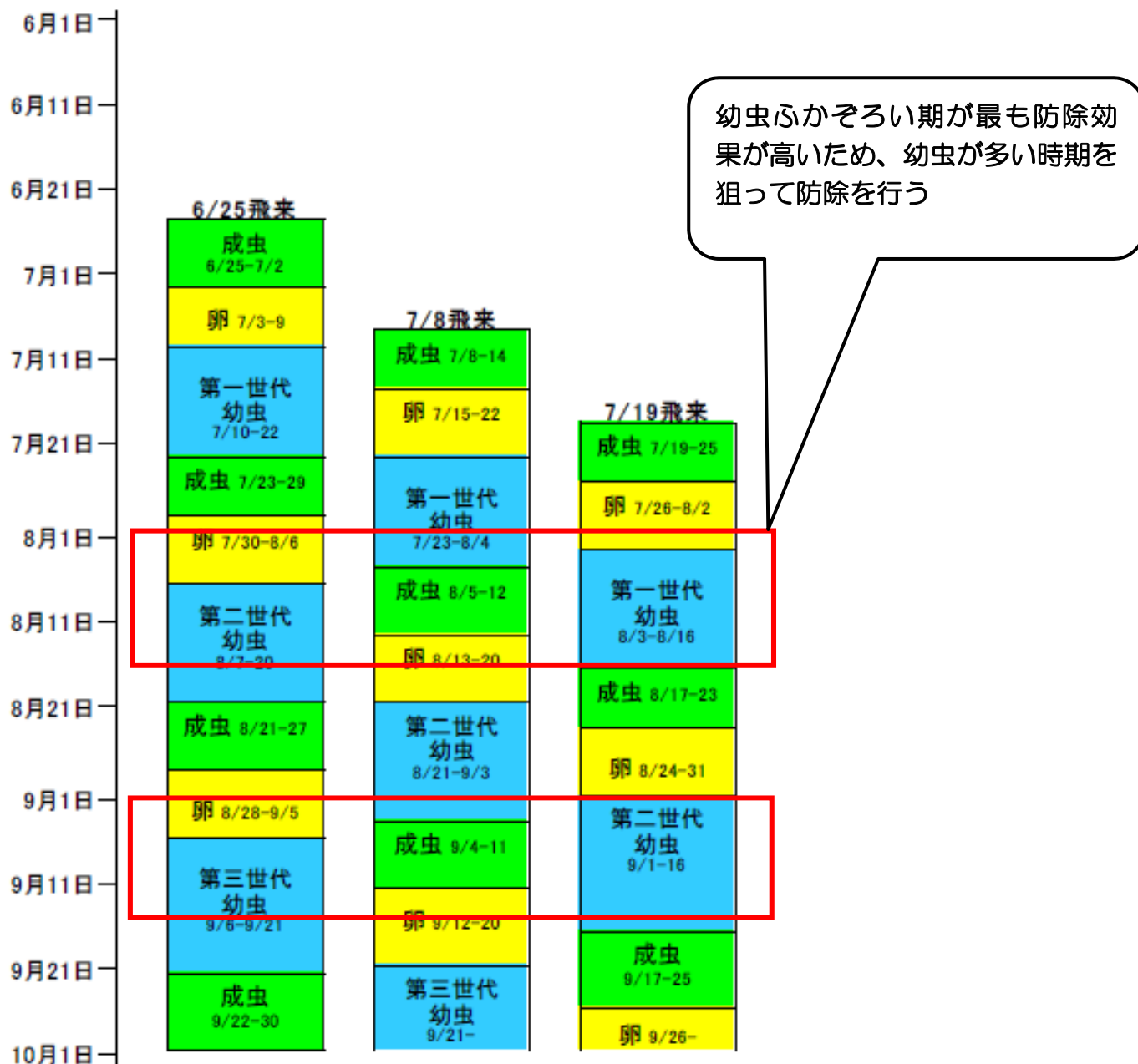


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第3版、2022年7月20日作成)

1. 6月23～25日頃(図では6月25日)、7月8日頃、7月19日頃の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月20日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の飛来状況や気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

# 令和4年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：伊万里)

西松浦農業振興センター

